

# 平成 29(2017)年度 研究実践報告会のご案内（2次案内）

主催 大阪教育大学附属特別支援学校  
大阪教育大学特別支援教育講座  
後援 大阪府教育委員会  
(予定) 大阪市教育委員会  
堺市教育委員会

## ご挨拶

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育・研究活動にご理解、ご支援、ご指導を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校では研究実践報告会を下記のとおり開催いたします。

本校では昨年度より「Art & Science ～科学的根拠に基づいた魅力ある教育実践～」という研究主題のもとで、3グループがそれぞれの研究を行っています。グループを構成している研究内容は多くの学校での教育に関係する重要な話題であり、大阪教育大学特別支援教育講座の先生方からの専門的なご指導ご助言も交えながら紹介させて頂く予定です。また今回の研究実践報告会では国立特別支援教育総合研究所の武富博文様にご講演をお願いしており、各教科の目標・内容・方法・学習評価の一本化のようなユニークな話題も含め特別支援教育に役立つお話しをうかがえるものと考えています。

つきましては、皆様方におかれましては何かとご多用中のこととは存じますが、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

本校の教職員一同、皆様のご参加をお待ちしております。

平成 29 年 10 月 吉日

大阪教育大学附属特別支援学校 校長 山本利和  
大阪教育大学特別支援教育講座 教授 西山 健

研究主題と 研究チーム	研究主題 「Art & Science ～科学的根拠に基づいた魅力ある教育実践～」
<b>A</b> 授業実践の成果 グループ	<b>「発達段階を踏まえた授業実践」チーム</b> リーダー 松本(小) 指導助言者 三益 亜美 講師 (大阪教育大学 特別支援教育講座 発達障害) <b>「知的障がい特別支援学校における 課題関連図を導入した自立活動指導の実践的研究」チーム</b> リーダー 岩井(高) 指導助言者 山本 晃 教授 (大阪教育大学 特別支援教育講座 精神医学) <b>「知的障害特別支援学校における主体的・対話的で深い学びの視点 に基づいた教科学習の検証～事例研究～」チーム</b> リーダー 渡部(小) 指導助言者 藤田 裕司 教授 (大阪教育大学 特別支援教育講座 知的障害)
<b>B</b> インクルーシブ教育の推進 グループ	<b>「インクルーシブ教育推進のための交流及び共同学習について」 チーム</b> リーダー 浅間(中) 指導助言者 富永 光昭 教授 (大阪教育大学 特別支援教育講座 知的障害・病弱)
<b>C</b> 実習生の育成 グループ	<b>「実習生の育成」チーム</b> リーダー 岩崎(中) 指導助言者 平賀 健太郎 准教授 (大阪教育大学 特別支援教育講座 病弱)

各チームの  
研究概要、  
見どころ

**A**  
授業実践の成果  
グループ

「発達段階を踏まえた授業実践」チーム

「『より安定した楽しい生活をすごしたい!』子どもたち。でも集団での生活に差しさわりがある行動が見られる場合、授業という場面設定の中で解決方法を獲得させてあげたい、そして発達段階を加味して一人ひとりが生活の中で応用できる支援をおこなっていきたい。」そんな思いをこめて本授業は展開します。子どもたちが自ら解決していこうとする姿勢・新たなものに挑戦する輝き・自分の思いを発信しようとする意欲を共感していただけると嬉しいです。さらに本学科学教育センターと連携して、ICT活用が有効な場面や表情分析・瞬きの分析による効果的な教材や関わり方の研究成果をご覧ください。未来ある子どもたちへの生活を高めていけるよう、皆さまの更なるご指導を頂けることを願っております。

「知的障がい特別支援学校における  
課題関連図を導入した自立活動指導の実践的研究」チーム

本研究では、「現象関連図」「課題関連図」「指導実践内容整理図」を導入した自立活動の指導実践に取り組んでいます。作成した3つの図(figure)は、実態把握において収集した情報の整理と収束、また、学習や生活上の困難さの背景に着目した指導課題の関係性の整理及び優先する指導目標の明確化に活用しています。公開授業では、高等部の自立活動における時間の指導を見ていただきます。小学部、中学部での取組みはポスターでの発表を予定しています。「何を、どのように学び、何ができるようになるか」を意識したこれまでの指導実践の成果の一端を、児童生徒たちと一緒に表したいと思います。

「知的障害特別支援学校における主体的・対話的で深い学びの視点  
に基づいた教科学習の検証～事例研究～」チーム

本研究では、学習指導要領改訂のポイントの一つ「主体的・対話的で深い学び」の授業の在り方やその必要性について、独自の評価規準を用いながら研究を進めています。当日は小学部と高等部の音楽の授業での子どもたちの自己選択・自己実現や協働的な活動を展開し、振り返り等でICT機器の活用も取り入れた公開授業を行います。参会者の方々には教科を問わず、知的障害特別支援学校における主体的・対話的で深い学びの実現に向けた建設的なご意見を多数いただけることを期待しています。

「インクルーシブ教育推進のための交流及び共同学習について」  
チーム

本研究では、「共生社会」の実現をめざし、本校中学部、大阪教育大学附属平野中学校、大阪市立喜連中学校支援学級の3校が交流及び共同学習を行っています。障害者スポーツを題材にお互いに認め合い、体育の力が向上するような取組みをめざしています。また視覚障害のある方を招いて、障害理解が進むことも課題としています。本校で行った交流及び共同学習の評価について、いくつかをご紹介します。教育効果がより高い交流及び共同学習とは何かを一緒に考えていきたいです。

**B**  
インクルーシブ教育の推進  
グループ

「実習生の育成」チーム

本研究では、実習生と指導に携わる教諭双方の育ち育てるという資質と能力の向上と、質の高い教育実習を行うことで将来教員をめざす実習生をよりよく育成することを最終的な目的として研究を進めています。

文部科学省、中央教育審議会答申にもあるように、教員の資質能力の向上は各校ともに喫緊の課題でもあるかと思えます。各校の実習担当者、主幹教諭や指導教諭、中堅段階からベテラン段階の教員、若手でこれから実習に関わる皆様のご参会を期待しています。

**C**  
実習生の育成  
グループ

日時 平成 30 (2018) 年 2 月 10 日 (土) 9 時 20 分～17 時 00 分  
(受付 8 時 45 分より)

会場 大阪教育大学附属特別支援学校  
〒547-0027 大阪市平野区喜連4丁目8番71号  
TEL:06-6708-2580・2590 FAX:06-6708-2380

当日の流れ

8:45	9:20	9:50	10:50	11:50	12:30	13:00	14:00	14:40	15:30	16:50	
当日の流れ	受付	△ 全体会 開会式 ▽	公開授業①	公開授業②	昼食・休憩	ポスター発表	分科会	文部科学省 委託事業報告	シンポジウム	講演会	△ 全体会 閉会式 ▽

内容

1 開会式 (9:20～9:50) 体育館

- ・開会の言葉 本校副校長 長江 京子
- ・講座主任挨拶 大阪教育大学 教員養成課程 特別支援教育講座  
主任・教授 西山 健
- ・来賓挨拶 【未定】
- ・来賓紹介 本校副校長 長江 京子
- ・基調報告「本校の研究について」 本校研究部長 吉村 晋治
- ・事務連絡 本校研究部長 吉村 晋治

2 公開授業① (9:50～) ※公開授業以外の授業も見学可能です。

研究グループ、チームとその授業	学部	指導者	場所
Aグループ①チーム 「こくこ」らっこグループ (9:50～10:30)	小学部	木村 佳世 上重 晴美 大淵 周平	小学部 1組教室
Aグループ①チーム 「こくこ」あざらしグループ (9:50～10:30)	小学部	松本 将孝 大島 眞佐子	小学部 3組教室
Cグループチーム 「くらし(理科)」Bグループ (9:50～10:40)	中学部	岩崎 弘	中学部 1年生教室
Aグループ③チーム 「音楽」Fグループ (9:50～10:40)	高等部	日裏 香里 上床 亜利沙 村山 希世	生活訓練棟 1階

※各授業の詳細については、12月末頃に本校のホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

### 3 公開授業②（10：50～） ※公開授業以外の授業も見学可能です。

研究グループ、チームとその 授業	学部	指導者	場 所
Aグループ③チーム 「おんがく」ドラムグループ（10:50～11:30）	小学部	渡部 敬真 松本 将孝 佐伯 由衣	生活訓練棟 1階
Bグループチーム 「交流及び共同学習」全体発表会（10:50～11:40）	中学部	堤 文希 松浦 祐里 浅間 耕一 他中学部全教員	中学部 1年生教室
Aグループ②チーム 「自立活動」からだ（水）（10:50～11:40）	高等部	岩井 俊夫 上床 亜利沙	体育館

※各授業の詳細については、12月末頃に本校のホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

### 4 ポスター発表（12：30～12：55） 体育館

※「転導性の高い知的障害児への視知覚の機能を高めるための指導」本校小学部 松本 将孝  
奨励研究採択（日本学術振興会）

この他にも多数予定。12月末頃に本校のホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

### 5 分科会（13：00～13：50）

次年度の研究大会に向け、各チームの研究計画と授業の整合性について協議します。

分科会名	提案者	授業者	指導・助言者	司会者・記録者
A授業実践の成果 ①発達段階チーム	大島 眞佐子 (小学部)	木村 佳世 (小学部) 松本 将孝 (小学部)	大阪教育大学 教員養成課程 特別支援教育講座 三盃 亜美 講師  大阪教育大学 科学教育センター 仲矢 史雄 准教授	司会者 高瀬 美和子 (小学部) 記録者 加茂 展子 (高等部) 千阪 彩音 (中学部)
A授業実践の成果 ②自立活動チーム	丹沢 正太 (小学部)	岩井 俊夫 (高等部)	大阪教育大学 教員養成課程 特別支援教育講座 山本 晃 教授	司会者 酒井 理恵 (養護教諭) 記録者 名加 一成 (高等部) 上重 晴美 (小学部)
A授業実践の成果 ③主体的・対話的で 深い学びチーム	下岡 花子 (高等部)	渡部 敬真 (小学部) 日裏 香里 (高等部)	大阪教育大学 教員養成課程 特別支援教育講座 藤田 裕司 教授	司会者 大淵 周平 (小学部) 縄 真美子 (中学部) 記録者 北室 聖史 (中学部)
C実習生の育成 実習生の育成チーム	上床 亜利沙 (高等部)	岩崎 弘 (中学部)	大阪教育大学 教員養成課程 特別支援教育講座 平賀 健太郎 准教授	司会者 菊澤 博行 (主幹教諭) 記録者 中島 弘貴 (中学部) 松浦 祐里 (中学部)

6 文部科学省委託事業報告（14:00～14:35） 体育館

平成29年度 文部科学省研究委託事業

**学校における交流及び共同学習を通じた  
障害者理解の推進事業**  
(心のバリアフリー)

国立大学法人 大阪教育大学附属特別支援学校

提案者・話題提供者	指導・助言者	司会者	記録者
大阪教育大学 附属特別支援学校 浅間 耕一	大阪教育大学 教員養成課程 特別支援教育講座 富永 光昭 教授	堤 文希 (中学部)	橋本 義久 (高等部)
大阪教育大学 附属平野中学校 高岸 康文			吉村 晋治 (高等部)

7 公開シンポジウム（14:40～15:25） 体育館

研究主題 「Art & Science

～科学的根拠に基づいた魅力ある教育実践～」

司会者（コーディネーター）	大阪教育大学 教員養成課程 特別支援教育講座 主任・教授 西山 健
シンポジスト	大阪教育大学附属特別支援学校 学校長 山本 利和 大阪教育大学附属特別支援学校 研究部長 吉村 晋治 同 A授業実践の成果 ①発達段階チームリーダー 松本 将孝 同 A授業実践の成果 ②自立活動チームリーダー 岩井 俊夫 同 A授業実践の成果 ③主体的・対話的で深い学びチームリーダー 渡部 敬真 同 Bインクルーシブ教育の推進チームリーダー 浅間 耕一 同 C実習生の育成チームリーダー 岩崎 弘

8 講演会（15:30～16:45） 体育館

演 題 「新学習指導要領の告示を踏まえた更なる特別支援教育の推進  
-主体的・対話的で深い学びの在り方-」

講 師 武富 博文（たけどみ ひろふみ）先生  
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

情報・支援部 総括研究員（学校教育支援・連携担当）

著 書 1) 東洋館出版社「知的障害教育におけるアクティブ・ラーニング」  
2) ジアース教育新社「キャリア発達支援研究 3(既刊)・4(12月刊行予定)」  
3) 明治図書「平成29年度版学習指導要領改訂のポイント 特別支援学校」



## 9 閉会式（全体会）（16：50～） 体育館

- ・学 校 長 挨拶
- ・事 務 連 絡
- ・閉 会 の 言 葉

本校校長 山本 利和  
本校研究部長 吉村 晋治  
本校副校長 長江 京子

参加費

**無料**

参加申込

下記 HP から申し込みフォームに進み、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

申込期間： 平成29年12月1日（金）～平成30年1月26日（金）

申込先： URL <http://www.fuzoku-se.oku.ed.jp/>

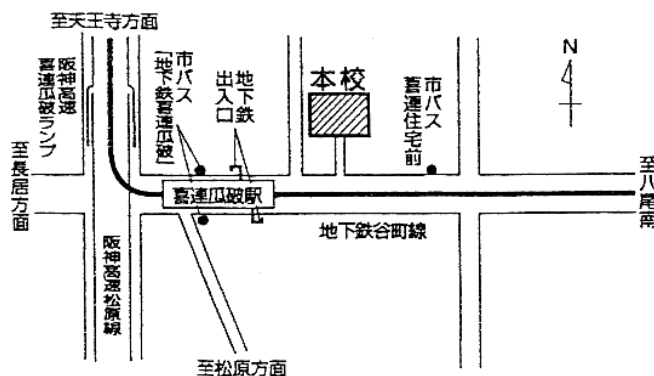
大阪教育大学附属特別支援学校 検索



※参加にあたって何か配慮が必要な場合は、上記のフォームに必ずご記入ください。

アクセス

- JR大阪駅 →（徒歩約5分）→ 地下鉄谷町線「東梅田」駅より「八尾南」方面行き乗車  
→（約25分）→「喜連瓜破」駅下車、3番出口より東へ約150m
- JR天王寺駅→（徒歩約5分）→地下鉄谷町線「天王寺」駅より「八尾南」方面行き乗車  
→（約13分）→「喜連瓜破」駅下車、3番出口より東へ約150m



その他

- 1 昼食につきましては、学校周辺の飲食店をご利用ください。
- 2 駐車設備が利用できませんので電車、バスをご利用ください。
- 3 個人情報保護の観点から、ビデオ・写真等の撮影は原則お断りいたします。  
ご理解ご協力をお願いいたします。
- 4 ご質問につきましては、できる限りメールでお願いいたします。

E-mail : [fuyoken@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:fuyoken@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)